

PLAZA IMS

秋号 Vol.69

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



呼吸器外科ページ



< 理念 >

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

< 基本方針 >

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。
4. 私たちは、情報技術を最大限に駆使して「未来から選ばれる病院」を目指します。
5. 私たちは、病院内に痛みや苦しみがなくなるように全力を尽くします。



板橋中央総合病院公式 LINE アカウント



板橋中央総合病院公式チャンネル「Ita Tube」 YouTube

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分

03-3967-1181 (代表)

<https://ims-itabashi.jp/>



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ



- STEP 1 相談
- STEP 2 情報提供
- STEP 3 受診決定

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間（予約含む）
対象者さま基本情報等の連絡
【入院（所・居）・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中 疾患別セルフチェック

健康セルフチェック 検索

gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

0800-800-1632

※【050】からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>



CONTENTS

患者さま一人ひとりに寄り添った 肺がん治療

急性期の総合病院としてアジア初
次世代CT フォトンカウンティングCTを導入
撮影条件により自然放射線量のたった1日分程度になる場合も^(※)

Itachu News

(※)…【参考】シーメンスヘルスケア株式会社 プレスリリースより <https://www.siemens-healthineers.com/jp/press-room/press-releases/pr-20220217-naeotomalpha>

呼吸器外科 ロボット支援下手術

2019年12月導入から

200 件 達成

(2022年11月11日現在)

ロボット支援下手術（ダビンチ手術）は、2019年12月に呼吸器外科に導入され、先日、3年を待たずに200件目に到達いたしました。ロボット支援下手術では、倍率10～14倍の3Dモニター下で手術を行っており、微細な組織を把握しながら作業を行うことができます。

また、7個の関節を自由に動かすことで、人の手を超えた動きを実現しています。

当院では、ロボット支援下手術が日常化しており、手術室スタッフの準備も迅速でスムーズです。

当科では、ロボット支援下手術導入以前、術後7日前後の入院が肺がん手術の標準経過でありました。現在は、通常術後4～5日前後で退院されます。

この度、ロボット支援下手術100件のデータを解析し、その特徴を調べました。



最近の50件では40%の患者さんが術後4日以内で退院し、62%の患者さまが術後5日以内に退院していました。また、82%の患者さまが術後7日以内で退院されました。早期退院された場合は、翌週の外来に通院していただき、状態のチェックをしていますが、その頃になると患者さま自らの判断で、痛み止め内服をすでに終了していることも珍しくありません。

私が呼吸器外科医として成長していった時期には、肺がん手術技術の大きな進歩がありました。その歴史とともに我々の手術も、開胸手術（20-30cm）→小開胸手術（8cm）→hybride VATS（直視併用胸腔鏡手術、創部4-6cm）→pureVATS（完全鏡視下胸腔鏡手術）→ロボット支援下手術と進化していきました。日々、医学の進歩を実感しています。

呼吸器病センター（呼吸器外科） 診療部長 小林 零



呼吸器病センター（呼吸器外科）
診療部長 小林 零

当院における肺がん治療の特徴

肺がんに対する治療は、手術療法、放射線治療（サイバーナイフ）、化学療法（分子標的薬、抗がん剤）、免疫療法がありますが、その全てに当院は対応できます。それぞれの患者さまにあった治療法をなるべく早く開始することが非常に重要と考えています。その治療法の中でも、当科の特徴は、低侵襲手術にあると考えています。肺がん手術の低侵襲化の流れは、現在、ロボット支援下手術と単孔式胸腔鏡手術の2つに集約されつつありますが、当科はそのどちらの手術も行っています。

そのため、それぞれの患者さまにあった手術方法を選択することが可能です。また、進行した肺がんに対する手術は、気管支形成（気管支を縫合する手術）や肺動脈縫合を伴うことが多く、それに対応するために、従来の開胸+胸腔鏡併用の手術も行っています。



熱意・技術・チームワークで患者さまを支えます

呼吸器病センター（呼吸器外科） 03-3967-1181(代表)

肺がんはどのように発見される方が多い？

過去に報告されたデータによると、症状（血痰、胸痛、咳嗽）で受診された方が約60%、健診が約30%、他疾患で通院中に発見された方が約10%でした。しかし、手術可能である早い段階で発見された患者さまに限定するとそれぞれ30%ずつでありました。以上を踏まえると、自覚症状が出ないうちに発見することが治療にとって重要であると考えられます。

進行してしまった肺がんについては どのようなアプローチがあるのでしょうか？

肺がんは、進行して発見されることが多く、手術できる段階で発見される患者さまの割合は、全体のわずか40%と言われています。進行した肺がんが見つかった場合、まず抗がん剤を投与し、腫瘍の縮小化、限局化を目指します。現局化した場合、それらを外科的に切除いたします（サルベージ手術と言います）。

患者さま一人ひとりに寄り添った 肺がん治療

日本の肺がん治療の進歩は著しく、肺がんの遺伝子を調べその結果に応じた薬物療法を行う precision medicine(個別化医療)は、地域の一般病院でも普通に行われるようになってきました。肺がん遺伝子をさらに広く調べる肺がんパネル検査外来は、がんセンターなど限られた施設で開設されていますが、パネル検査は、通常治療が行われ他に治療法がない場合にのみ行える検査となっています。このような状況では、地元の病院で行うことができる多量の標準治療を行い、標準治療での選択肢がなくなるあるいは少なくなった段階で、肺がんパネル検査外来（他院）を受診することも1つの選択肢と考えられます。

がんの治療においては、本人及びご家族が頻回に来院しなければならない状況があります。例えば、再発チェック目的の定期通院（肺がん術後の方）、抗がん剤治療での通院、体調の急な変化があった場合の緊急受診など患者さまご自身が通院される場合はもちろんのこと、面会や患者さまの身の回りのお世話をを行うための来院、病状の変化での急な呼び出しなどご家族も来院されることが多いと考えられます。そのため、ご自宅の近くで肺がんの十分な治療が受けられるなら、患者さま、ご家族の負担は軽減され、そのメリットは大きいと考えられます。ぜひ、当院での治療をご検討いただければ幸いです。





注 目 情 報

『ホスピタルズ・ファイル』に加藤良太郎院長のインタビュー記事が掲載されました！

病院情報ポータルサイト『ホスピタルズ・ファイル』に加藤良太郎院長のインタビュー記事が掲載されました。ぜひご覧ください。



無痛分娩のご案内動画を配信しています！

当院で行っている無痛分娩について、産科・婦人科の石田友彦副院長が解説しております！

当院公式You Tube「Ita Tube」にてぜひご覧ください！



注 目 情 報

祝日も診療を行っています。

1月9日(月・成人の日)は、祝日診療を行います。

- ・急に体調が悪くなった。
- ・予約制の、人間ドックを受診したい。
- ・平日は忙しいので、お休みの日に受診したい。などのお悩みにお応えします。

(祝日となりますので、通常診療費に加え、休日診療加算が追加されます。)

急性期の総合病院としてアジア初！

次世代 CT フォトンカウンティング CT を導入！



国内で3例目、かつ急性期の総合病院ではアジア初のフォトンカウンティング CT「NAEOTOM Alpha」を当院に導入いたしました。(8月25日より稼働)

このCTでは、従来のCTでは困難だった血流や骨を識別する精度の高い画像診断が可能になります。また、撮影時間が短いことや、被ばく線量が低減することで、(※1撮影条件により、日本の自然放射線量のたった1日分程度となることも)患者さまの身体的負担を大幅に減らすことができます。

※当院のCT装置は複数ございます。検査の内容や状況によって使用する装置が異なります。あらかじめご了承ください。

※1… [参考] シーメンスヘルスケア株式会社 プレスリリースより

<https://www.siemens-healthineers.com/jp/press-room/press-releases/pr-20220217-naeotomalpha>



NEWS ページ ▶